

【アンケートにご協力いただいた保護者の皆様へ】

平成30年度「食」に関するアンケートの結果について

いわき市教育委員会では、子どもたちの「食」の実態把握を目的とし、子どもとその保護者を対象にアンケートを実施しました。保護者の皆様には、改めてアンケートへのご協力に御礼申し上げます。今回、その結果がまとまりましたので、次の通りお知らせいたします。結果を家庭や地域と共有することで、子どもたちの「食」に関する課題を共有し、本市の食育活動の改善・推進につなげて参りたいと思いますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

いわき市教育委員会

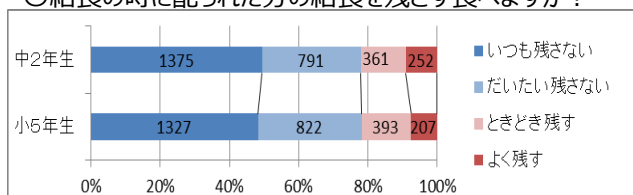
・対象者：いわき市内の小学校5年生と中学校2年生、およびその保護者

	小学校5年生	中学校2年生	合計(人)
児童生徒	2,753	2,785	5,538
保護者	2,474	2,278	4,752

①食事の中で野菜や汁物を食べているか

【児童生徒】

○給食の時に配られた分の給食を残さず食べますか？

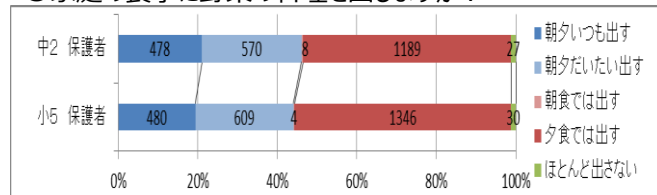


○参考：平成30年度第2回「朝食を見直そう週間運動」（いわき市）

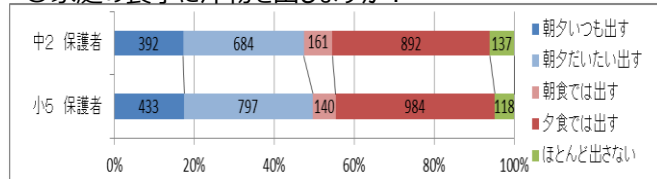
	小学校	中学校	小・中学校合計
朝食摂取率	98.7%	97.4%	98.3%
朝食に野菜を食べた	60.0%	60.3%	60.1%
朝食に汁物を食べた	57.6%	58.9%	58.1%

【保護者】

○家庭の食事に野菜の料理を出しますか？



○家庭の食事に汁物を出しますか？



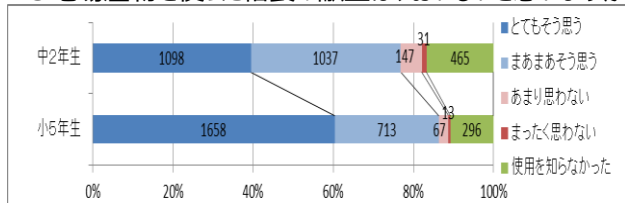
約8割の子どもが「給食を残さず食べている」と答えており、「食事に出たものは食べる」という子どもが多いと思われます。一方で保護者の回答からは、夕食ではほとんどの家庭で野菜料理や汁物が出されているものの、朝食では約半分の家庭でしか野菜料理や汁物が出ていないことが分かります。

家庭の食事、特に**“朝食に野菜料理や汁物を出すこと”**が、子どもたちの野菜を食べる**頻度と量を増やすポイント**だと言えそうです。

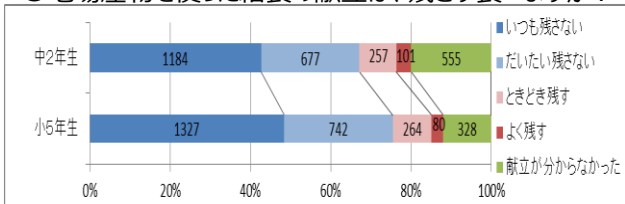
②いわき市または福島県の地場産物を食べているか

【児童生徒】

○地場産物を使った給食の献立は、おいしいと思いますか？

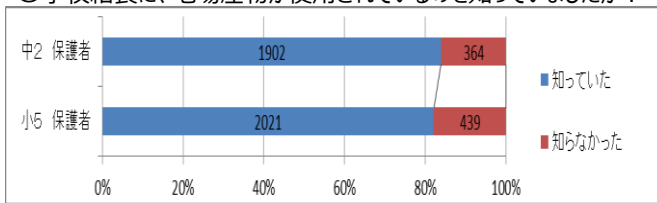


○地場産物を使った給食の献立は、残さず食べますか？

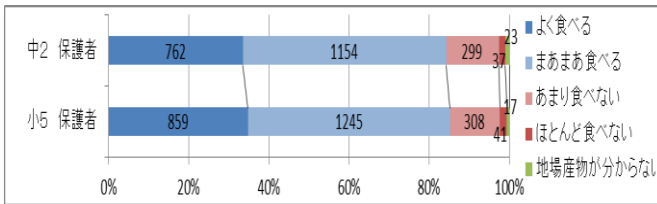


【保護者】

○学校給食に、地場産物が使用されているのを知っていましたか？



○家庭の食事で、地場産物を使用していますか？



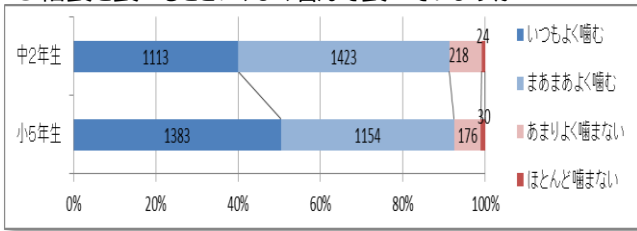
いわき市の平成30年度学校給食地場産物活用割合は、50%以上でした(福島県調査より)。しかし、児童生徒および保護者の1割以上が「地場産物の使用を知らなかった」等と答えていることから、まだまだ地場産物やその活用について周知を進めていく必要があります。



③よく噛んで食べているか

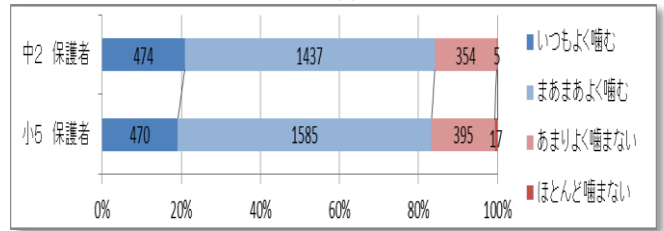
【児童生徒】

○給食を食べるときに、よく噛んで食べていますか？



【保護者】

○お子さんは、食事の時によく噛んで食べていますか？



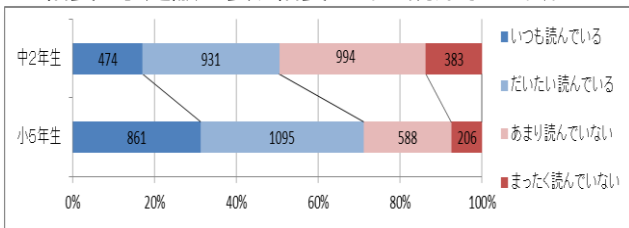
中学生より小学生の方が「よく噛んでいる」と答えた割合が高いのに対し、保護者ではその割合が逆転しています。子どもと保護者で、「噛む」ことに対する認識にズレがあるようです。

給食では、喫食時間が短い中学校では速く食べる＝噛む回数が少なくなる傾向が見られ、いかに「噛む」ことを意識させるかが課題の1つでもあります。引き続き、給食で積極的に噛みごたえのある食材を使用したり、おたよりで啓発したりしていきますので、**家庭でも、日頃から「噛む」ことを話題にする等、習慣化を目指して声かけをお願いします。**

④学校給食への興味関心について

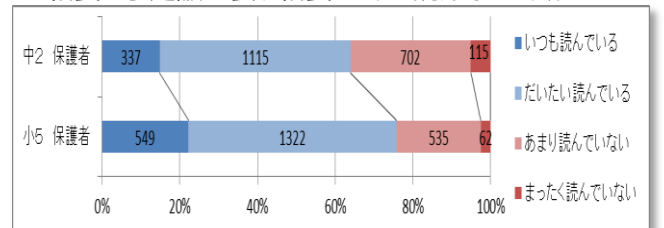
【児童生徒】

○給食の予定献立表や給食だよりは読んでいますか？

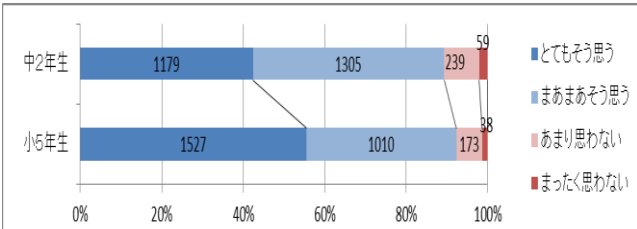


【保護者】

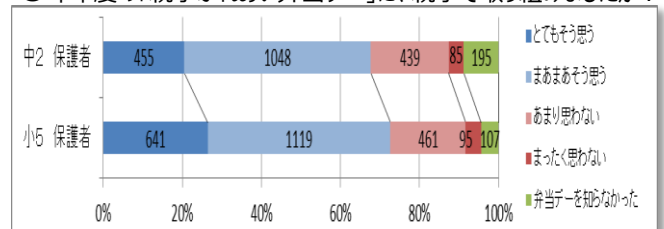
○給食の予定献立表や給食だよりは読んでいますか？



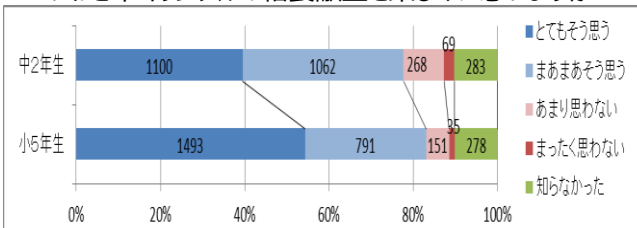
○給食の時間を楽しみに思いますか？



○昨年度の「親子ふれあい弁当デー」に、親子で取り組みましたか？



○地元の高校生や料理人の方と協力した、いわき市オリジナルの給食献立を楽しみに思いますか？



中学生になると、献立表やおたよりを読む生徒の割合が極端に減っています。（小学生とその保護者が約7割読んでいるのに対し、中学生とその保護者は約半分に減っています。）また「給食を楽しみにしている」と答えた割合も、小学生より中学生の方が低くなっています。

中学生は部活動や塾等で忙しく、時間的にも精神的にもゆとり食事をすることや自分の食生活を振り返ること、「食」に興味を持つこと自体が難しくなるのかもしれませんが、**子どもたちが「食」に関する正しい知識や習慣を身に付けるためには、学校の給食時間だけでは十分とはいえず、家庭や地域での取り組みが不可欠です。** 今後は、子どもたちや保護者、地域の方々により関心を持ってもらえる給食運営・食育推進になるよう、日々の献立やおたよりの内容を工夫していきます。